



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー

コード番号 3054 URL <https://www.hyperpc.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 CEO （氏名）望月 真貴子

問合せ先責任者 （役職名）取締役 CFO （氏名）江守 裕樹 TEL 03-6855-8180

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	10,754	16.6	340	85.0	345	121.7	281	226.7
2024年12月期第3四半期	9,225	8.1	183	354.0	155	269.6	86	—

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 268百万円（206.8％） 2024年12月期第3四半期 87百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	29.20	29.07
2024年12月期第3四半期	8.95	8.89

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期第3四半期	7,665	3,112	40.2	319.11
2024年12月期	7,463	2,920	38.5	298.27

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 3,081百万円 2024年12月期 2,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	3.50	—	3.50	7.00
2025年12月期	—	3.50	—		
2025年12月期（予想）				3.50	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	16,000	28.9	400	52.6	400	66.9	315	44.2	32.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	9,878,100株	2024年12月期	9,860,500株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	221,308株	2024年12月期	221,308株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	9,647,621株	2024年12月期 3 Q	9,636,915株

（注）期末自己株式数には、「三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式118,900株が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって、緩やかな景気回復が続いております。エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により、消費者マインドが弱含んでいるものの、企業の設備投資は、製造業を中心にコロナ禍や物価高により先送りしてきた更新投資や人手不足の問題を解決するための省人化・省力化投資等を背景に、好調に推移しました。とりわけIT投資分野においては、金融業や製造業を中心に幅広い業種で投資意欲が高い状態にあり、好調に推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、「人とITで日本の会社を元気に」というミッションを掲げ、顧客企業の生産性を高め続けるベストパートナーになることを目標に定め、顧客開拓と関係強化、ストックビジネスの強化、ソリューション営業の強化、セキュリティサービスの開発、子会社との相乗効果の最大化などに注力してまいりました。また、業務プロセスの効率化を図り、収益力を向上させ、利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,754,010千円（前年同期比16.6%増）、経常利益は345,122千円（前年同期比121.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は281,741千円（前年同期比226.7%増）となりました。

各セグメント別の営業の概要は次のとおりであります。なお、各セグメントの業績をより適切に評価するため、第1四半期連結会計期間の期首より共通費の配賦方法を変更しております。そのため、変更後の数値で比較分析しております。

① ITサービス事業

ITサービス事業においては、堅調な企業収益を背景に、法人市場では幅広い業種でIT分野での投資意欲は高い状態が継続いたしました。また、Windows10のサポート終了に伴うWindows11搭載機への入れ替え需要が継続し、法人向けパソコンの出荷台数、出荷金額ともに前年を大きく上回り、好調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループでは、企業のIT部門が直面する課題を解決するため、お客様に代わりPCやサーバーの調達、設置、設定、セキュリティ対策、運用管理をサポートする情報システムサービスを「ビジネスコネクスト」としてブランド化し、拡販に注力してまいりました。

売上高は、パソコンをはじめとしたハードウェア機器販売の出荷台数が昨年度を大きく上回ったことで、好調に推移いたしました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により、好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は9,634,953千円（前年同期比18.1%増）、営業利益は188,936千円（前年同期比303.2%増）となりました。

② アスクリエージェント事業

中小企業の需要回復の遅れによる購買金額の伸び悩みがあるものの、日用品関連の需要が堅調に推移しており、また、優良顧客の開拓及びインターネット広告を活用した顧客の流入拡大や取引先の稼働促進など営業活動を強化したことで、売上高、営業利益につきましては、前年同期に対し、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,068,408千円（前年同期比4.1%増）、営業利益は151,732千円（前年同期比17.0%増）となりました。

③ その他

当社グループは、就労移行支援事業を運営しており、一般企業への就職を目指す障害のある方を対象に職業訓練・就労支援に関するサービスの提供を行っております。ハローワーク、相談支援事業所に対する周知活動やSNSの活用により集客活動を継続的にを行い、事業所の認知拡大を図りながら利用者数の確保に努めております。

売上高につきましては、堅調に推移しましたが、営業利益につきましては、新オフィスの開設に伴う支出の増加などもあり、昨年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、売上高は50,649千円（前年同期比17.9%増）、営業損失は493千円（前年同期は7,329千円の利益）となりました。

（注）各セグメントの売上高は、セグメント間の内部取引を除いた金額を記載しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて202,235千円増加し、7,665,601千円となりました。

流動資産の残高は7,082,975千円となり、前連結会計年度末と比べ314,540千円の増加となりました。これは主に「現金及び預金」が減少したものの「受取手形及び売掛金」及び「商品」が増加したことによるものです。

固定資産の残高は582,626千円となり、前連結会計年度末と比べ112,304千円の減少となりました。これは主に「無形固定資産」及び「投資その他の資産」が減少したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて10,087千円増加し、4,552,986千円と

なりました。

流動負債の残高は4,187,632千円となり、前連結会計年度末と比べ90,114千円の増加となりました。これは主に「短期借入金」及び「1年内返済予定の長期借入金」が減少したものの「買掛金」が増加したことによるものです。

固定負債の残高は365,353千円となり、前連結会計年度末と比べ80,027千円の減少となりました。これは主に「長期借入金」が減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、「利益剰余金」の増加等により、前連結会計年度末と比べ192,148千円増加し、3,112,615千円となりました。この結果、自己資本比率は40.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして、2025年2月14日に公表した連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）から変更はありません。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。業績の実績は、今後の様々な要因の変化により、当業績予想と乖離する可能性があります。予想の修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,358,821	2,210,488
受取手形及び売掛金	3,346,420	3,716,418
電子記録債権	201,382	202,235
商品	619,114	671,046
仕掛品	116,712	165,021
その他	132,723	125,174
貸倒引当金	△6,741	△7,408
流動資産合計	6,768,434	7,082,975
固定資産		
有形固定資産	30,212	44,166
無形固定資産		
のれん	66,350	51,748
その他	260,938	177,569
無形固定資産合計	327,289	229,317
投資その他の資産		
投資有価証券	44,291	16,569
繰延税金資産	144,794	137,845
その他	226,150	229,986
貸倒引当金	△77,806	△75,259
投資その他の資産合計	337,429	309,141
固定資産合計	694,931	582,626
資産合計	7,463,366	7,665,601
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,068,273	3,355,501
短期借入金	350,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	196,800	119,400
リース債務	10,810	13,695
未払法人税等	63,362	48,967
前受金	33,941	31,020
賞与引当金	92,941	75,967
その他	281,387	263,079
流動負債合計	4,097,517	4,187,632
固定負債		
長期借入金	228,630	135,800
リース債務	19,987	23,059
役員株式給付引当金	42,934	48,305
役員退職慰労引当金	75,125	71,175
退職給付に係る負債	41,909	44,973
繰延税金負債	615	-
資産除去債務	36,140	37,998
その他	38	4,040
固定負債合計	445,381	365,353
負債合計	4,542,898	4,552,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	573,977	577,028
資本剰余金	571,904	574,956
利益剰余金	1,804,127	2,017,500
自己株式	△88,312	△88,312
株主資本合計	2,861,697	3,081,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,359	359
その他の包括利益累計額合計	13,359	359
新株予約権	45,410	31,082
純資産合計	2,920,467	3,112,615
負債純資産合計	7,463,366	7,665,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,225,687	10,754,010
売上原価	6,707,041	8,019,826
売上総利益	2,518,645	2,734,184
販売費及び一般管理費	2,334,779	2,394,009
営業利益	183,865	340,175
営業外収益		
受取利息	369	4,049
受取配当金	944	1,063
広告料収入	900	900
協賛金収入	5,377	1,942
その他	2,433	3,394
営業外収益合計	10,024	11,349
営業外費用		
持分法による投資損失	33,432	-
支払利息	4,675	6,144
その他	90	258
営業外費用合計	38,197	6,402
経常利益	155,692	345,122
特別利益		
新株予約権戻入益	484	12,642
投資有価証券売却益	-	21,907
特別利益合計	484	34,550
特別損失		
固定資産除却損	-	9,859
減損損失	-	8,010
特別損失合計	-	17,870
税金等調整前四半期純利益	156,176	361,801
法人税、住民税及び事業税	55,214	68,021
法人税等調整額	14,735	12,038
法人税等合計	69,950	80,060
四半期純利益	86,226	281,741
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,226	281,741

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	86,226	281,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,377	△12,999
その他の包括利益合計	1,377	△12,999
四半期包括利益	87,604	268,741
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,604	268,741

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準27号 2022年10月28日）等を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	70,247千円	78,336千円
のれんの償却額	11,676	14,602

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,156,263	1,026,467	9,182,730	42,956	9,225,687	-	9,225,687
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,128	218	3,347	-	3,347	△3,347	-
計	8,159,392	1,026,685	9,186,077	42,956	9,229,034	△3,347	9,225,687
セグメント利益又は損失 (△)	46,863	129,673	176,536	7,329	183,865	△0	183,865

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△0千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,634,953	1,068,408	10,703,361	50,649	10,754,010	-	10,754,010
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,922	580	2,503	-	2,503	△2,503	-
計	9,636,875	1,068,989	10,705,864	50,649	10,756,513	△2,503	10,754,010
セグメント利益又は損失 (△)	188,936	151,732	340,668	△493	340,175	△0	340,175

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△0千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(共通費の配賦方法の変更)

報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、第1四半期連結会計期間の期首より共通費の配賦方法の変更をしております。そのため、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の事業セグメントの利益又は損失の測定方法に基づいて作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。